

IR REPORT

第43期 第2四半期株主通信

2022年1月1日～2022年6月30日



変化のスピードが増す事業環境にも柔軟に対応し 社会インフラを支えるフォワーダーとして 挑戦を続けてまいります

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは第4次中期経営計画（2020年1月～2022年12月）を前倒しで達成し、国際総合フレイトフォワーダーとしてさらなる成長を目指してまいりました。

◆ 2022年度上半期の市場動向

わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の蔓延、急激な円安、資源価格の上昇等による企業活動への影響が懸念されております。コンテナスペース不足による運賃高騰につきましては、依然として不安定な状態が続いておりますが、当社は船会社様と交渉して全力で海上コンテナスペースの確保に努めてまいりましたところ、前年の業績を大きく上回る水準で推移いたしました。

今後は、ウクライナ情勢、インフレによる世界経済の減速懸念などにより、輸送需要の低下に伴うコンテナ運賃の下落の可能性がある一方、貨物運賃が高止まりのまま推移することもあり得ると考えております。

◆ 当第2四半期の業績

単体の輸出入につきましては、数量は前年同四半期と比べてほぼ横ばいでしたが、運賃が大幅に上昇した結果、増収増益となりました。

国内子会社におきましては、株式会社ユーシーアイエアフレイトジャパンは、海上コンテナスペースのひっ迫により航空輸送の案件を増やし大口の設備輸入案件を獲得したことで増収増益となりました。また、フライングフィッシュ株式会社は、従来より得意とする食品輸入のみならず、積極的な新規取引拡大等により増収増益となりました。

海外子会社においては、日本からの貨物の取扱が売上高の大半を占めておりますが、近年では日本発着以外のサービスも強化、推進しております。当第2四半期連結累計期間におきましては、フォワーディング案件を順調に取込み、増収増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は23,552百万円（前年同四半期比53.2%増）、営業利益は3,139百万円（同88.8%増）、経常利益は3,343百万円（同92.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,269百万円（同95.6%増）と増収増益となりました。

代表取締役社長 小嶋 佳宏



内外トランスラインの今とこれから

Q1 内外トランスラインの強みは？

当社の5つの強みをご紹介します。

① 40数年間の輸出混載輸送の実績

混載という事業を通じて数多くのお客様とお取引をいただいております。船会社様とも良好な関係を構築しております。

② 収益性の高い海上輸出混載輸送

収益性の高い海上輸出混載が当社の主力商品となっており、単体の売上高の4割以上を占めています。

③ 成長続くアジア向け輸出

当社が日本から一番多く輸出している貨物はアジア向けで、そのうち、中国、韓国、シンガポール、タイ等主要な国において現地法人を有しており、海外でのサポートは万全です。

④ グローバルネットワーク

当社は世界400か所以上の地域に毎週450便超の輸送を行っております。

⑤ 力強い財務基盤

直近の自己資本比率は70パーセントを超えており、有利子負債はなく、財務基盤は盤石です。

Q2 様々なリスクへの対応と成長戦略は？

事業環境の変化に対応しつつ、さらなる成長を目指します。

新型コロナウイルスによる人手不足に端を発した物流の混乱でコンテナ船のスペース不足が深刻になり、その結果運賃が高騰していますが、当社は多くの船会社様のご協力により、スペースひっ迫時にも一定の供給を確保していただいております。その他の事業環境の変化についても、幅広く情報収集を行い、迅速な対応を行っております。

成長戦略としましては、まず事業領域の拡大を図ってまいります。お客様の多様なニーズにお応えすべく混載だけでなく、フルコンテナ、航空輸送に加え、通関、倉庫、陸送等、フォーワーディング分野に事業領域を拡大していますが、これらに加え今後はM&A等により更に領域を拡大し、グループ全体の企業価値向上に努めてまいります。もう一つの成長戦略としましては、営業スタイルの多様化です。従来の訪問営業だけでなく、デジタルパンフレット等による非接触型営業を強化・推進してまいります。

連結財務指標

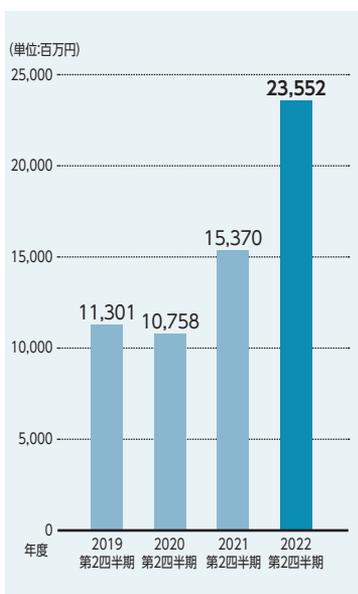
当四半期の業績 (2022年1月～6月)

売上高

23,552百万円

前年同期比

53.2%増



コンテナ運賃につきましては、運賃が下落する時期もあるなど不安定な状態が続いており、動向を注視する必要があります。

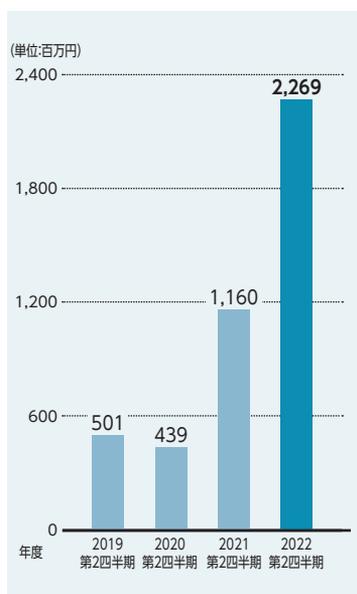
このような状況の中、全力で海上コンテナスペースの確保に努めてまいりましたところ、前年の業績を上回る水準で推移し、当第2四半期連結累計期間における売上高は23,552百万円(前年同期比53.2%増)となりました。

親会社株主に帰属する 四半期純利益

2,269百万円

前年同期比

95.6%増



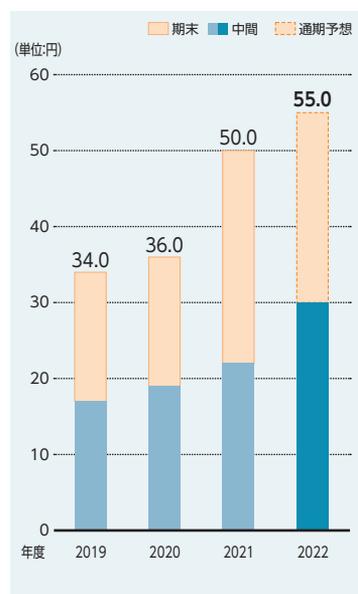
日本における輸出入の数量は前年同期と比べてほぼ横ばいでしたが、運賃が大幅に上昇したこともあり、営業利益は3,139百万円(前年同期比88.8%増)、経常利益は3,343百万円(同92.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,269百万円(同95.6%増)と前年同期比において増収増益となりました。

1株当たり配当金

30.0円

前年同期比

8.0円増



業績の推移並びに財務状況などを総合的に勘案しつつ、安定的な配当の継続実施を将来にわたり堅持する方針のもと、当第2四半期の配当金は前年同期比8.0円増の30.0円とし、通年では計55.0円とする予定です。

◆ キャッシュ・フロー指標

(単位：百万円)

	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	745	702	1,190	2,349
投資活動による キャッシュ・フロー	△325	△35	△412	△28
財務活動による キャッシュ・フロー	△211	△220	△264	△339
現金及び現金同等物の 四半期末残高	5,840	6,656	7,515	11,302

◆ 資産関連指標

(単位：百万円)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度 第2四半期
総資産	12,145	12,784	16,752	20,065
純資産	9,484	9,864	12,700	15,532
自己資本比率 (%)	72.1	72.0	71.6	73.3

◆ 1株当たり指標

(単位：円)

	2019年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	2021年度 第2四半期	2022年度 第2四半期
1株当たり四半期純利益	51.68	45.17	119.25	233.00

会社概要

◆ 会社概要

2022年6月30日現在

社名	内外トランスライン株式会社 (英名：NAIGAI TRANS LINE LTD.)	
設立	1980年5月1日	
代表取締役社長	小嶋 佳宏	
従業員数	672名(連結)	
資本金	243,937,240円	
上場市場	東京証券取引所 プライム市場	
加入団体	FIATA IATA 国際フレイトフォワードーズ協会(JIFFA) 日本貿易振興機構(JETRO) 大阪商工会議所 東京商工会議所 神戸商工会議所 名古屋商工会議所 横浜商工会議所 福岡商工会議所 北九州商工会議所 東京通関業会 横浜通関業会	

◆ 役員一覧

2022年6月30日現在

代表取締役社長	小嶋 佳宏
専務取締役	大川 友子
常務取締役	戸田 幸子
取締役	三根 英樹
取締役	東 宏尚
取締役	岩 貞均
社外取締役	中澤 圭亮
取締役(常勤監査等委員)	長谷川 豊
社外取締役(監査等委員)	川崎 裕朗
社外取締役(監査等委員)	敏 森 廣光

◆ 株式の状況

2022年6月30日現在

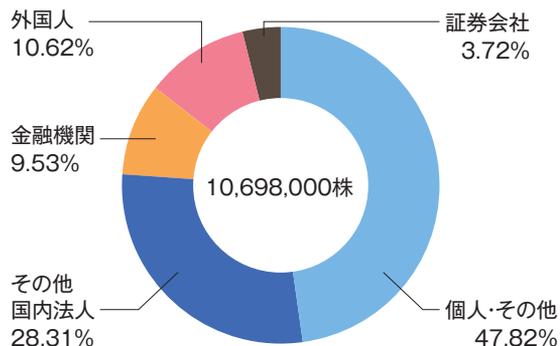
発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式の総数	10,698,000株
株主数	12,255名

◆ 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
合同会社エーエステイ	2,121	21.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	779	7.97
内外トランスライン従業員持株会	347	3.56
戸田 徹	320	3.27
株式会社ときわそば	250	2.56
SMBC日興証券株式会社	242	2.48
日章トランス株式会社	232	2.37
トランコム株式会社	220	2.25
常多 晃	164	1.68
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	163	1.67

(注) 当社は、自己株式921,744株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除しております。

◆ 所有者別分布状況



国内事業所 2022年6月30日現在

本社
(大阪市中央区備後町二丁目6番8号)
サンライズビル5階

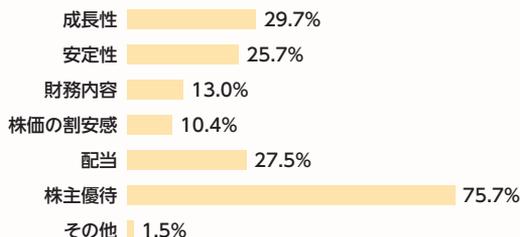
東京支店
横浜支店
名古屋支店
神戸支店
福岡営業所

2022

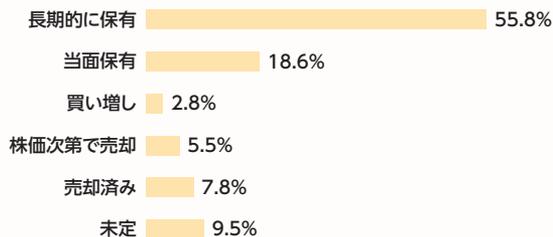
株主アンケート 結果のご報告

2021年12月期株主優待お申し込みハガキで実施いたしました「株主アンケート」では、全株主様の89.8%に当たる14,678名の方々からご回答いただきました。ご協力いただきました皆様に御礼を申し上げますとともに、集計結果の一部をご報告いたします。

質問1 当社株式の購入理由(複数回答)



質問2 今後の方針



株主様の声 (一部)

輸送という人と物を結ぶお仕事、大切です。ぜひ永く続く良い会社であってください。

今後も顧客と株主の立場を考えた良質なサービスと経営を期待しています。

顧客、従業員、株主にバランス良く配慮した油断の無い堅実な経営をお願いします。

優待品ご紹介

ご好評をいただいております株主様ご優待。前回(2021年12月期)、特に人気の高かった商品をご紹介します。

1,500円相当分



新潟産 新之助 2kg



ウェルチギフト



日本ハム レストラン仕様
カレー (中辛) 8袋



花王 キュキュット6本セット

2,500円相当分



山形産 雪若丸 5kg



フルーツジュースギフト



サマーギフトゼリー



花王 アタック3Xギフト

保有株式数に応じて商品(カタログより選択)または社会貢献団体へ寄付

◆100株以上200株未満 1,500円相当 ◆200株以上4,000株未満 2,500円相当 ◆4,000株以上 5,000円相当

◆株主メモ

事業年度：毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会：毎年事業年度終了後、3か月以内に開催いたします。

基準日：定時株主総会 12月31日
期末配当金 12月31日
中間配当金を行う場合 6月30日

株主名簿管理人：東京都千代田区丸の内一丁目3番3号
みずほ信託銀行株式会社

公告方法：電子公告の方法により、下記ホームページに掲載いたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
<https://www.ntl-naigai.co.jp/>

単元株式数：100株

上場取引所：東京証券取引所 プライム市場

証券コード：9384

お問合せ先：〒168-8507

東京都杉並区和泉2-8-4
みずほ信託銀行 証券代行部
フリーダイヤル 0120-288-324
(土・日・祝日を除く9:00～17:00)

お取扱店：みずほ信託銀行

本店および全国各支店(※)
(※)トラストラウンジではお取扱できませんので
ご了承ください。

未払配当金の
お支払：みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※)
みずほ銀行 本店および全国各支店

(※)トラストラウンジではお取扱できませんので
ご了承ください。

お取扱窓口：証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、ご利用の証券会社等へご連絡をお願いいたします。
証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、上記のお取扱店にてお取次いたします。
なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の上記連絡先にお問合せください。



表紙写真：深圳港

深圳港は、蛇口港や塩田港を中心に複数の港で構成され、2020年のコンテナ貨物取扱量が世界4位(2,655万TEU)のコンテナ港です。1979年に中国の経済特区となり、多くの海外投資を誘致したことにより製造拠点として急速に発展。高層ビルが立ち並びさまから「中国のシリコンバレー」とも呼ばれています。写真右側の特徴的なビルは、深圳で3番目に高い建築物でその形状から深圳市民からは「春笋(日本語でタケノコ)」の愛称で親しまれています。

内外トランスライン株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町二丁目6番8号 サンライズビル5階
TEL 06-6260-4710 FAX 06-6260-4713

